

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能									<b>3.0</b>
Q-1 室内環境									<b>3.1</b>
1 音環境									
1.1 騒音									
1.1.1 1 騒音レベル									
1.1.1.1 1 騒音レベル									
1.2 遮音									
1.2.1 1 開口部遮音性能									
1.2.1.1 1 開口部遮音性能									
1.2.1.2 2 界壁遮音性能									
1.2.1.3 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
1.2.1.4 4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
2.1.1 1 室温設定									
2.1.1.1 1 室温設定									
2.1.1.2 2 室温制御設備									
2.1.1.3 3 外皮性能					W				
2.1.1.4 4 ソーン別制御性									
2.1.1.5 5 窓・窓簾制御									
2.1.1.6 6 個別制御									
2.1.1.7 7 設備が設置し対応可能設備									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
床暖房を取り入れ上下温度差がなくなるように考慮した。									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
3.1.1 1 昼光率									
3.1.1.1 1 昼光率									
3.1.1.2 2 方位別開口									
3.1.1.3 3 昼光利用設備					W				
3.2 グレア対策									
3.2.1 1 グレア対策									
3.2.1.1 1 グレア対策									
3.2.1.2 2 昼光制御					W				
3.3 照度									
3.3.1 1 照度									
3.3.1.1 1 照度									
3.4 照明制御									
3.4.1 1 照明制御									
3.4.1.1 1 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
4.1.1 1 化学物質汚染									
4.1.1.1 1 化学物質汚染									
4.1.1.2 2 化学物質汚染									
4.1.1.3 3 化学物質汚染									
4.1.1.4 4 化学物質汚染									
4.2 換気									
4.2.1 1 換気量									
4.2.1.1 1 換気量									
4.2.1.2 2 自然換気性能									
4.2.1.3 3 取り入れ外気への配慮									
4.2.1.4 4 換気設備									
4.3 運用管理									
4.3.1 1 CO <sub>2</sub> の監視									
4.3.1.1 1 CO <sub>2</sub> の監視									
4.3.1.2 2 喫煙の制御									
4.3.1.2.1 2 喫煙の制御									
Q-2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1.1.1 1 広さ・収納性									
1.1.1.1 1 広さ・収納性									
1.1.1.2 2 高度情報通信設備対応									
1.1.1.3 3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1.2.1 1 広さ感・景観									
1.2.1.1 1 広さ感・景観									
1.2.1.2 2 リフレッシュスペース									
1.2.1.3 3 内装計画									
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
2.1.1 1 耐震性									
2.1.1.1 1 耐震性									
2.1.1.2 2 免震・制振性能									
2.2 部品・部材の耐用年数									
2.2.1 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					W				
2.2.1.1 1 外壁仕上げ材の補修必要間隔									
2.2.1.2 2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					W				
2.2.1.3 3 配管・配線材の更新必要間隔					W				
2.2.1.4 4 主要設備機器の更新必要間隔					W				
2.3 適切な更新									
2.3.1 1 屋上・屋根、外壁仕上げ材の更新									
2.3.1.1 1 屋上・屋根、外壁仕上げ材の更新									
2.3.1.2 2 配管・配線材の更新									
2.3.1.3 3 主要設備機器の更新									
2.4 信頼性									
2.4.1 1 空調・換気設備									
2.4.1.1 1 空調・換気設備									
2.4.1.2 2 給排水・衛生設備									
2.4.1.3 3 電気設備									
2.4.1.4 4 機械・配管支持方法									
2.4.1.5 5 通信・情報設備									
精密機器に対しての浸水対策、光ケーブルの採用を行っている。									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>2.8</b>	0.29	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.0</b>
3.1 空間のゆとり									
1 階高のゆとり				階高2.975mm、2.925mmとしている。			<b>3.2</b>	0.50	
2 空間の形状・自由さ							4.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり							2.0	0.40	
3.3 設備の更新性							<b>3.0</b>	0.50	
1 空調配管の更新性					<b>2.8</b>	1.00			
2 給排水管の更新性					3.0	0.17			
3 電気配線の更新性					2.0	0.17			
4 通信配線の更新性					3.0	0.11			
5 設備機器の更新性					3.0	0.11			
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22			
6 3.0					3.0	0.22			
<b>Q-3 室外環境(敷地内)</b>						<b>0.30</b>			<b>2.8</b>
1 生物環境の保全と創出		G			<b>2.0</b>	0.40			<b>2.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮		G			<b>3.0</b>	0.20			<b>3.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮					<b>3.0</b>	0.40			<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		<b>3.0</b>	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			<b>3.0</b>	0.50			
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									<b>3.4</b>
<b>LR-1 エネルギー</b>						<b>0.40</b>			<b>3.8</b>
1 建物の熱負荷抑制	W				<b>3.0</b>	0.40			<b>3.0</b>
2 自然エネルギー利用					<b>3.0</b>	0.20			<b>3.0</b>
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				<b>3.0</b>	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		<b>3.0</b>	0.50			
3 設備システムの高効率化	W			過度な照明を避け、省エネに配慮した。	<b>5.0</b>	0.40			<b>5.0</b>
4 効率的運用									
4.1 モニタリング	W								
4.2 運用管理体制	W								
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>						<b>0.30</b>			<b>3.6</b>
1 水資源保護					<b>3.6</b>	0.15			<b>3.6</b>
1.1 節水	W			節水型水栓水型便器を採用しています。	<b>4.0</b>	0.60			
1.2 雨水利用・雑排水再利用					<b>3.0</b>	0.40			
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67			
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33			
2 低環境負荷材					<b>3.6</b>	0.85			<b>3.6</b>
2.1 資源の再利用効率					<b>3.6</b>	0.35			
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67			
2 非構造材料の再利用効率	W			再生建設資材の積極的な採用をしている。	5.0	0.33			
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				<b>2.0</b>	0.04			
2.3 有害物質を含まない材料	W				<b>3.0</b>	0.08			
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				<b>3.0</b>	0.18			
2.5 部材の再利用可能性	W			乾式間仕切り、断熱材のケレン吹付等、分別が比較的容易である。(躯体)	<b>5.0</b>	0.18			
2.6 フロン・ハロンの回避					<b>3.5</b>	0.18			
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.50			
2 断熱材	W				3.0	0.50			
3 冷媒	W								
<b>LR-3 敷地外環境</b>						<b>0.30</b>			<b>2.8</b>
1 大気汚染防止	W			潜熱回収型を使用している。	<b>4.0</b>	0.10			<b>4.0</b>
2 騒音・振動・悪臭の防止					<b>3.0</b>	0.05			<b>3.0</b>
2.1 騒音					3.0	1.00			
2.2 振動									
2.3 悪臭									
3 風害、日照障害の抑制					<b>1.6</b>	0.10			<b>1.6</b>
3.1 風害の抑制					1.0	0.70			
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30			
4 光害の抑制				光害対策ガイドラインのチェック項目の過半を満たしている。過剰な外部	<b>5.0</b>	0.05			<b>5.0</b>
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		<b>2.0</b>	0.30			<b>2.0</b>
6 地域インフラへの負荷抑制					<b>3.3</b>	0.40			<b>3.3</b>
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30			
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10			
6.3 交通負荷抑制					3.0	0.30			
6.4 廃棄物処理負荷	W		S	1),2),3),4)ゴミの種類や量を推計し、別棟ゴミ保管庫の回収容器・ホッ	4.0	0.30			

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅	-	-	-	面積按分
		3,286 m2	-	-	-	総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		<b>3.0</b>	-	-	-	<b>3.0</b>
3 設備システムの [ERRIによる評価]		-	-	-	-	<b>5</b>
3 高効率化 [個別設備による評価]		<b>5.0</b>	-	-	-	
3.1 空調設備		-	-	-	-	
3.2 換気設備		-	-	-	-	
3.3 照明設備		<b>5.0</b>	-	-	-	
3.4 給湯設備		<b>5.0</b>	-	-	-	
3.5 昇降機設備		-	-	-	-	